



創立50周年紀念誌



四日市市立海蔵幼稚園

創立50周年にあたって

四日市市教育委員会
教育長 佐々木龍夫

この度は、市立海蔵幼稚園が目出たく創立50周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

終戦直后から半世紀にわたり、園の運営に直接携わってこられた方々には勿論ながら、温かく見守り育てていただいた地域の皆様の御労苦、御尽力に対しましては、改めて感謝を申し上げますとともに、深く敬意を表する次第であります。

いま、幼稚園の役割やあるべき姿、あるいは幼稚園教育等につきましては、いろいろな御意見、考え方が提起をされております。わが国がこれ迄に経験したことの少ない少子化、核家族化の進行や家庭教育の不安定な実態、社会的価値観の多様性等々を考えると、幼児を取巻く環境としては、必ずしも好ましい状況とばかりは申せません。そうしたなかにあつて、来るべき21世紀を中心となって担うこととなる次世代の人々の礎を形造る幼稚園教育は、これ迄以上に重みを増してきていると考えております。幼児が真に伸びのびと生活をし、健全で協調性豊かな心を育みながら成長していくことを希い、そのために必要なより良い環境を、時代に即応しながら整えていくことは最も大切なことであり、関わりを持つ人びとの責務でもあります。こうした目標をかなえるためには、幼稚園における適切な指導とともに、家庭あるいは地域社会、地域環境との密接で心の通いあつた連携が不可欠であり、積極的な展開が極めて重要になってきていると考えます。

当海蔵幼稚園を巢立たれた方々は、今ではその多くの方が社会の各方面で御活躍のことと思いますが、そのお一人おひとりが当園のそれぞれの時代の想い出を強く心に刻みこんでおられることと思ひます。どうかこれからも当園で学ばれた園児たちが、将来、幼稚園時代をふり返つたとき、楽しい想い出としていつ迄も先輩や仲間と語り合うことができますよう、幼稚園の皆様の益々の御尽力とともに関係者の方々の倍旧の御支援と御協力をお願い申し上げます。祝いの言葉とさせていただきます。

50周年記念のお祝いに寄せて

海蔵地区連合自治会
会長 舘 増 男

創立50周年を迎えられ、心からお慶び申し上げます。

創設時、私は海蔵小学校に勤務し、幼稚園が併設園であった関係から当時のことをよく覚えている。大きなトタン屋根の両側教室で、雨が降ればお互の会話も出来ない。床はなく土間の上に6人用の机を置いて学習していた。出来た幼稚園だけは床張り、開園に備えて、2人の先生が高学年女兒の応援を得て、色紙の紙くさりの飾りつけを忙しそうにされていたことを覚えている。

翌々年公立幼稚園に切り替えられ教育内容の充実が徐々に高められた。文部省の保育指針が領域別に示された頃でも、その主流は所謂自由保育であって、自ら行う経験や活動を主軸に、登園後のある時間帯は、設定された環境に働きかけたり、気の合う仲間と好きな遊びに夢中になったり、第三者が参観していても、この保育のねらいは何か、はじめのうちは見当がつかなかった。しかし、先生はこの子は昨日より今日の遊びはここまで発展したとか、あの子は友だちへのかかわりがこのように変化したとか、綿密に把握されて、さすがと驚かされたことがあった。

幼児自らの力で、何の遊びをしようか選択し、それを高める、そして成就感を味わう。自由な条件の中で、やる気を起こすこと、これが自由保育のねらいであったと私は記憶している。

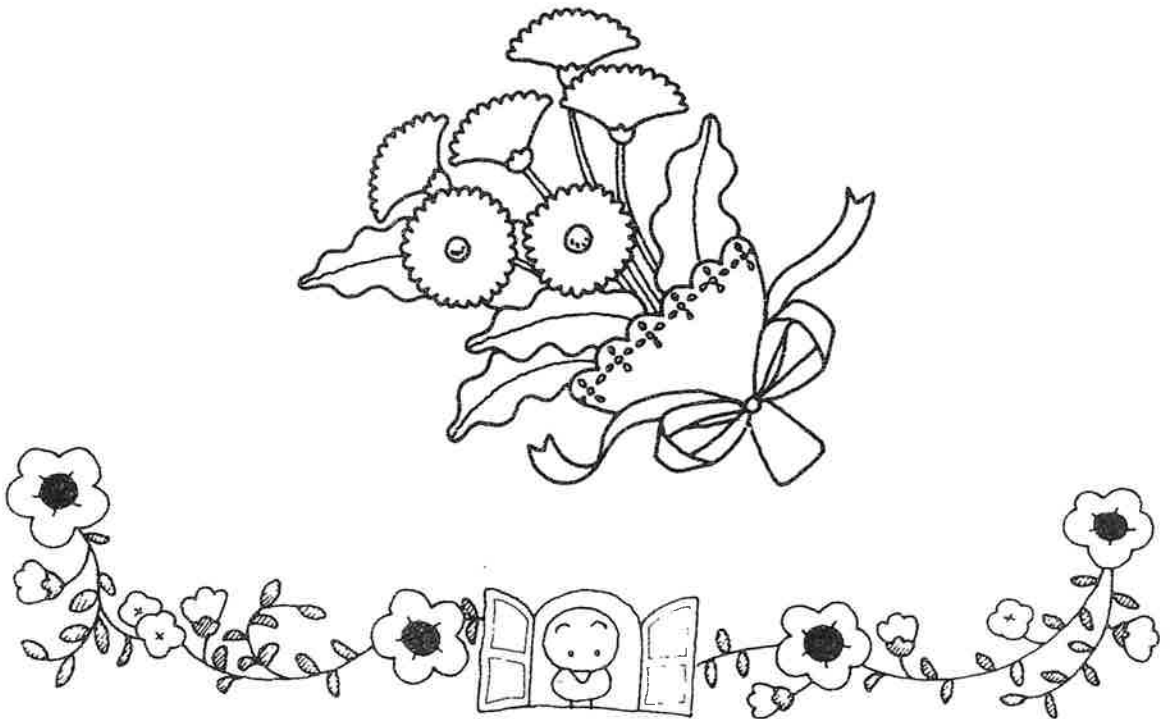
ある大学の先生が、英国での学術研究で2年間滞在された手記を読んだことがある。子供2人を含めた家族滞在中で、子供を現地の小学校へ入学させ、その反応をみていた教授が学校生活になじめない状況を見て、たびたび学校を訪れたとき、その学校の校長は私たちが責任をもって指導しているので安心しなさい。日本人はせっかちすぎるからと何度も言われたと。子育ては何事も出来るまで辛抱強く見守る姿勢が大切だ。教育者である教授自身が、わかっていながら我が身になると抜け落ちると反省された。3ヶ月後には英語にも馴れてきた子供は交友も深まり生氣を取り戻したという記事だった。

教育は子供の発達段階に応じ、それぞれねらいは異なるが、人間形成の基本

にかかわる幼児期の順調な生育は、その子の将来に大きく影響するものである。次から次へと与えることを繰り返し、不消化のまゝでは何も出来ないことと同じか或はそれ以下である。子供の発想ややる気を尊重し、子供自身から働きかけることを根幹に据えて置かなければならない。

教育談議になってしまったが、今の世の流れや変化の早さは私たちには当抵ついていけない。神経の敏感な子供は、大人のまねを含めてこれをうまくキャッチする。うまく出来る上手にまねをするなどは単なる刺激の受け取りではないでしょうか。大事な人間形成の根底を培う要素はもっと隠れたところにあるような気がする。

50年積み上げてこられた幼児教育の骨組みを更に強じんなものとなされ、内容と方法に一層の幅を持たせ、個性を生かし感情豊かなたくましい子供の育成に努力されることを望み、お祝いのことばにかえさせていただきたいと存じます。



幼稚園創立50周年をむかえて

四日市市立海蔵幼稚園
園長 太田 和子

海蔵幼稚園は昭和22年6月18日に創設され、50周年を迎えました。当時は、戦後間もない頃で、園舎はあるものの何もない時代で、小学校の先生にオルガンを譲っていただくという方の所まではるばるリヤカーで出かけていただいたり、遊具も一つ一つ造っていただくなど、まさに小学校や地域の方々の心のこもった手づくりのスタートだったとお聞きしています。

それから半世紀、幼稚園を卒園された方は6,257名となり、地域の中で、社会の中で、ご活躍いただいております。幼稚園の周囲も田畑から住宅地にかわり、道路も着々と整備され物の豊かな便利な時代となりました。また、テレビやファミコンなど情報も豊富になり直接体験しなくても世界の動きがわかるようになりました。それとともに、この社会の激しい変化のなかで、「人と人との絆」「豊かな感性」「ねばり強い心」など失われてきたものも多いように感じます。この海蔵幼稚園もまた例外であるとはけっして言えません。

しかし、幼稚園に入園された頃のあどけない表情が、卒園する頃にはたくましい笑顔に変わっていると、自信をもってお伝えできることも事実です。これは「たいへんだけれど…」と感じながらも幼稚園の教育に協力し、努力してくださる保護者の方々の心を子どもたちが確実に受け取っていくからです。さらに、海蔵の子どもたちのためにと力を合わせていただいている地域の方の熱意に育まれてきたからです。

今回海蔵幼稚園の50年を振り返り、歴史と伝統を学ばせていただく機会に恵まれました事を感謝し、21世紀の社会を担っていく子どもたちの心を育てるという大切な務めに携わっているということに誇りと大きな責任を感じます。

子どもたちの輝く瞳に接しながら、自分で考え自分で行動する充実感のもてる子どもに、一人一人の存在を認めあい、友達とともに生きている喜びを分かち合える子どもに育つよう、今後も自己研鑽し、指導に励みたいと考えています。

最後になりましたが、50周年記念を企画し、一步一步進めてきていただいた実行委員さんをはじめ、PTA委員や地域の方々の熱意と努力に心より御礼申し上げます。

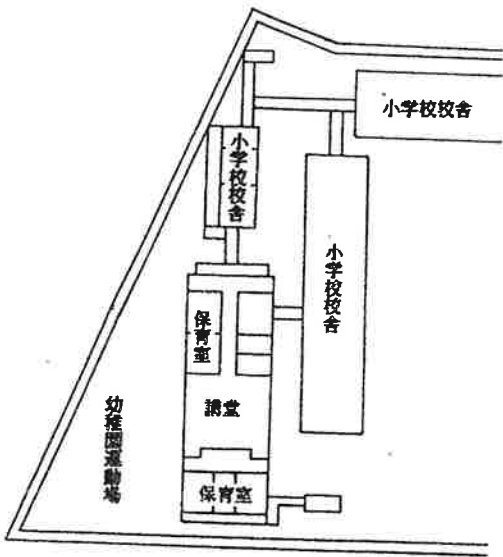
海蔵幼稚園沿革

昭和22(1947)年6月18日

「四日市市私立海蔵幼稚園」の名称にて海蔵小学校に付設される(5歳児 2学級)

- 24年4月 1日 農繁期(春秋)には季節託児所を併設
市に移管され「四日市市立海蔵幼稚園」と改称
- 28年4月 1日 2学級増加、4学級となる
- 29年4月 1日 1学級増加、5学級となる
- 32年4月 1日 海蔵小学校より独立

海蔵小学校に付設時の
幼稚園の位置

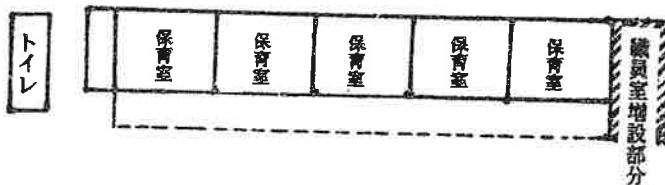


海蔵小学校から独立後の
幼稚園の位置



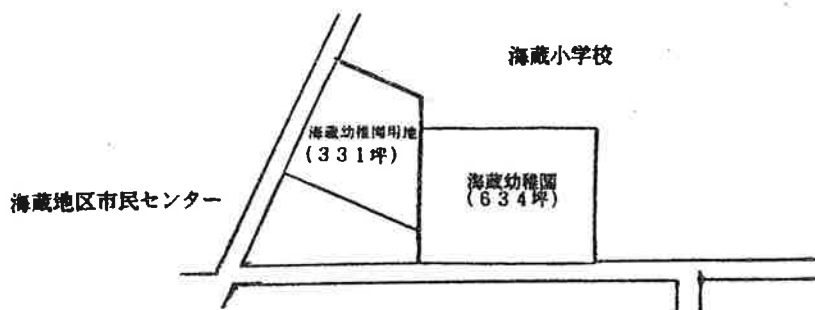
32年6月18日 創立10周年記念式挙行

39年7月22日 旧職員室を保育室に改造し、職員室を増設する



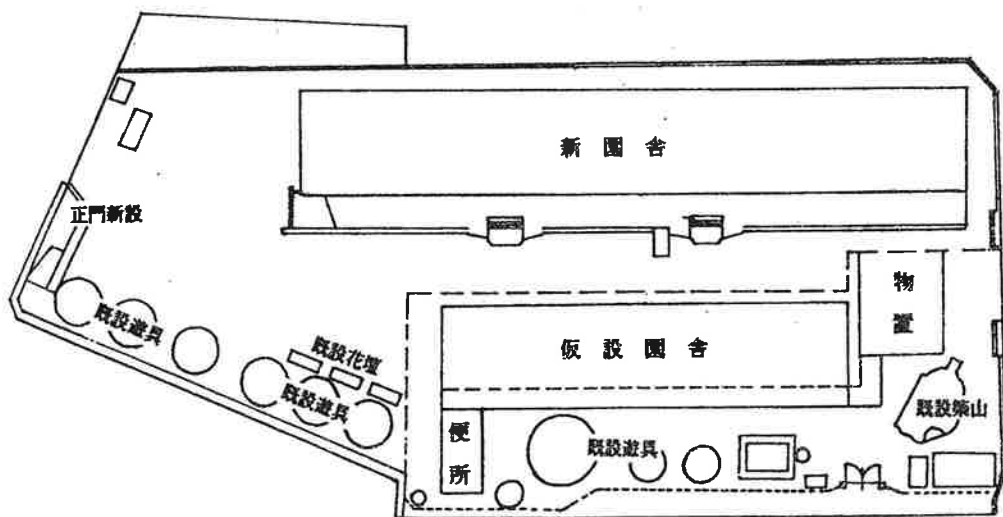
昭和49年3月

331坪（現在の西門から職員室付近まで）を購入



56年7月20日 園舎改築のため、園庭南側の仮設プレハブ教室に引越
(教室3 物置1 管理室1)

57年3月15日 新園舎竣工、落成式挙行



57年4月 7日 4歳児の2年保育開始（グラフ「園児数の推移」参照）
これに伴い教員も2名増加される

平成 3年4月 8日 担任外に障害者担当教員が新たに加わる

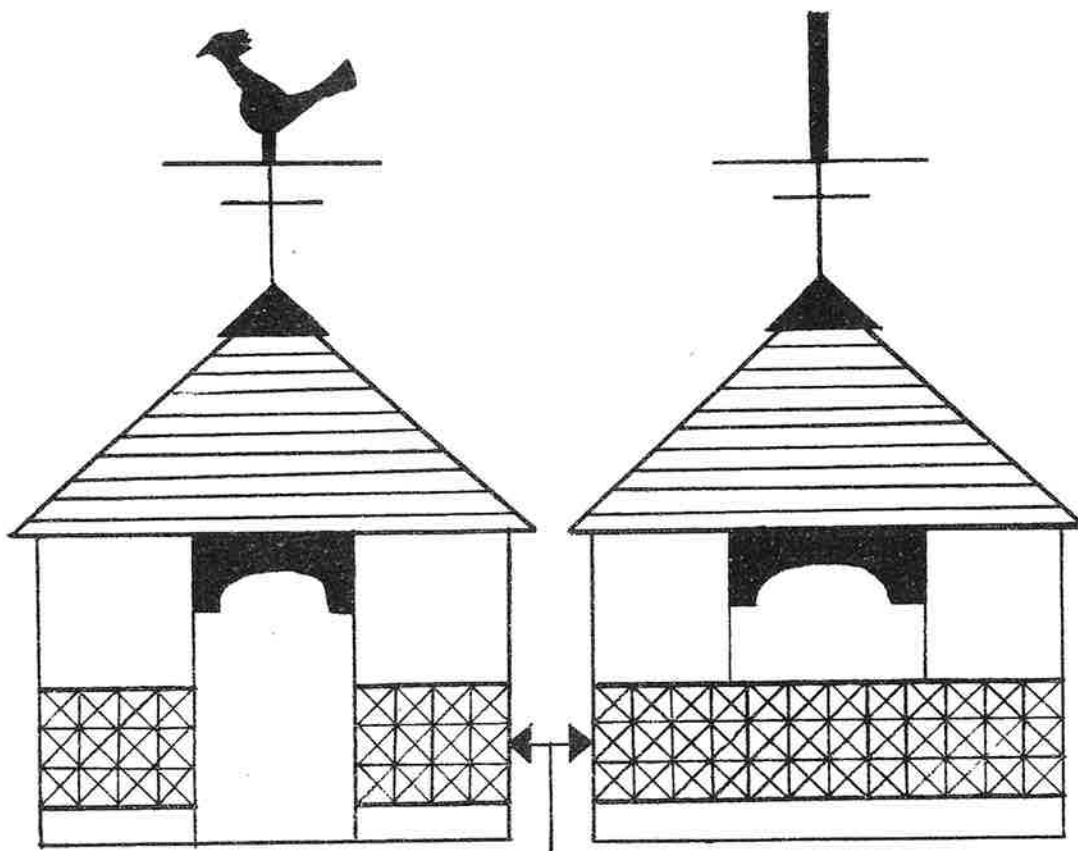
9年6月18日 創立50周年を迎える

9年6月22日 創立50周年記念式典挙行

創立50周年記念モニュメント

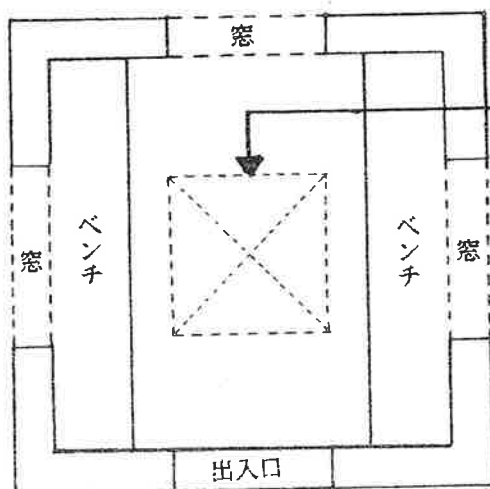
「わくわくハウス」紹介

「わくわくハウス」の名称は
平成8年度在園児の公募により決定したものです



平成8年度在園児による陶板作品

周辺の整備（芝生及び木製ベンチ等）は海蔵地区連合自治会にご賛助いただきました。



床下にタイムカプセルを収納、

タイムカプセルには子供達の作品や
声を取録したCDなどがはっています
2007年4月1日開封予定

編集後記

海蔵幼稚園は昭和22年6月18日に創立されて以来半世紀もの歴史を育んできたこととなります。50周年という大きな節目を迎えられることが出来ますのも、海蔵幼稚園に携わって下さった方々のご尽力の賜物と深く感謝致します。1年余りをかけて準備してきました諸々の記念事業も、昨年度及び今年度のPTA役員の方をはじめ保護者の皆様にご協力いただき、また、園外でも多くの方々にご賛助いただいて今日に至りますこと、この紙面をお借りして心からお礼申し上げます。

これからも海蔵幼稚園には地域とのふれあいを大切にしながら、子どもたちの豊かな心と健やかな体を育成すべくお力添えいただくようお願いして止みません。

50周年記念実行委員会

| | | | |
|----|-----|----|-----|
| 伊藤 | 百合香 | 伊藤 | かおり |
| 小峯 | 恵美 | 伊藤 | みつ子 |
| 中村 | 信子 | 吉澤 | ひさ子 |
| 磯田 | みゆき | 林 | 弥寿子 |
| 山田 | 晴美 | 吉田 | 昌子 |